

かながわ畜産まめ知識

三元交配（雑種強勢という魔法）

三元交配(交雑)豚とは、3種類の純粋種を掛け合わせた雑種豚(F₁)という意味。「**雑種強勢**」効果と、繁殖性、産肉性、肉質のバランスをとるために、3種類の品種を交配させます。国内では、繁殖性の優れたランドレース種♀(L)と大ヨークシャー種♂(W)を掛け合わせた雑種豚♀(LW)を子取り母豚(肉豚の母)とし、さらに止雄豚として肉質の優れたデュロック種♂(D)を掛け合わせた雑種豚(LWD)を肉豚にすることが主流です。

雑種強勢とは、二つの品種または二つの系統どうしを交配してできた子(F₁;一代雑種)の能力が、両親の持っている形質とは違った、あるいはそれ以上の形質、つまり両親より優れた能力(10~20%)を表すこと。この能力は二代目から消失する。なお、家畜の改良では、遺伝学・育種学的には「品種」に次ぐその下の分類として「系統」という分類がある。**同一品種でも血縁の遠いものの交配ではこの現象が起こる(系統間交配)**。メリットとしては、①発育良く肉質良くなる②斉一性が高まる③両親の欠点を補う。



系統豚「ユメカナエル」

交配

×

♀



系統豚「カナガワヨーク」

系統豚(畜産技術所)

ランドレース種 略称「L」 デンマーク原産
白色で大型、耳は大きく前に垂れているのが特徴。胴伸びが良く後駆も豊かで全体的にスマート。繁殖性に優れ(子供を多く産む)、発育も早い。泌乳量が多く育成率高い。

大ヨークシャー種 略称「W」 イギリス原産
白色で大型、耳は立っていてしゃくれ顔、骨格や足腰がしっかりしている。産肉性(たくさんの肉がとれる)と繁殖性ともに良好でバランスのとれた豚。

肉豚生産豚(生産者)



一代雑種豚♀(LWまたはWL)
肉豚の母豚

交配

×



デュロック種 略称「D」 アメリカ原産
褐色(茶色)で大型。耳は前に垂れていてしゃくれ顔。強健で暑さに強い。発育・性成熟も早い。産肉能力が高く肉にはサシ(網目状の脂肪)が入りやすい。

※神奈川県農業技術センター畜産技術所は、この母豚生産のための「**系統豚**」を繁殖・育成して、県内生産者に供給しています。

肉豚
(LWD
または
WLD)



肉豚(生産者)

※以上は基本的な生産体系で、各地域では美味しい豚肉づくりのためにさまざまな取り組み・品種の活用がなされています。